

公共工事等事故情報

事故分類	死傷公衆災害	発生日時	令和元年11月1日(金曜日) 9時50分			工事関係者区分	元請け
事故区分	第三者人身	性別	女性	年齢	80歳代	業種区分	土木
被災程度	右足親指, 右足外くるぶし裂離骨折			事故レベル	Ⅱ	休業見込日数	なし
工事概要	下水道管の清掃清掃						
事故概要	下水道管の清掃業務中, 開放して安全対策を施していた公共樹の蓋に, 自転車を押して来た被災者が右足を乗せたことで蓋が傾き公共樹内に落下して右足を負傷したもの。						
事故原因	注意喚起のため設置しているコーンサインの視認効果と, 開放中の公共樹を支えるため設置している枕木の落下防止効果が不十分であったこと。 交通誘導員は作業責任者に進入してきた被災者情報の連絡を, 作業従事者は全員が作業に気を取られて周囲状況の確認が十分できなかったこと。						
改善策	<ul style="list-style-type: none"> 作業現場での保安施設については, 現場状況に応じたより安全性の高いものを設置する。 安全教育について, 現場作業に従事する全ての職員の意識を高めるために, 朝礼及び毎月行われる安全教育訓練において事故事例等の説明を繰り返し行う。 						

事故状況図



改善状況図



○マンホールを囲む標識を設置することとした。

○マンホールの蓋が回転しないよう蓋の下に挟む枕木を板状のものに取り換えた。

公共工事等事故情報

事故分類	労働災害	発生日時	令和元年 11月 12日(火曜日) 11時10分頃			工事関係者区分	一次下請
事故区分	挟まれ・巻き込まれ	性別	男性	年齢	58	業種区分	土木
被災程度	右示指中手骨部基部骨折、右手関節部圧挫傷		事故レベル	I	休業見込日数	0日	
工事概要	地下鉄七隈線延伸工事						
事故概要	西行線シールド掘進時において、後続台車後方で土砂圧送配管を延長する作業時に、配管ジョイントを撤去す際、接続ボルトが落下しないように配管ジョイントの両側を下から両手を添えていたところ、配管とともに配管ジョイントが下がり、配管ジョイントとその下にあったレールとの間に右手を挟まれ負傷した。						
事故原因	<ul style="list-style-type: none"> ・土砂圧送配管を受けている輪木の状態を確認していなかった。 ・土砂圧送配管を受ける輪木を固定していなかった。 						
改善策	シールド掘進における土砂圧送配管の延長作業において ①輪木を枕木に番線で固定し、輪木のずれを防止するとともに、JV職員は現場巡回時に輪木が番線で枕木に固定されているかを確認する。 ②圧送配管延長作業前に、作業員は土砂圧送配管を受けている輪木が番線で枕木に固定されていることを必ず確認する。 ③今までの配管接続位置に追加配管を設置し、配管接続位置がレールと重ならない位置にずらして手挟まれを防止する。						

事故状況図



事故発生状況再現写真

改善状況図

- ①輪木を枕木に番線で固定する
- ②土砂圧送配管を受けている輪木が枕木に番線で固定されていることを確認する



再発防止対策全体説明図

- ③追加配管を挿入し、延長配管接続位置をずらすことにより、レールとの挟まれを防ぐ(右図参照)

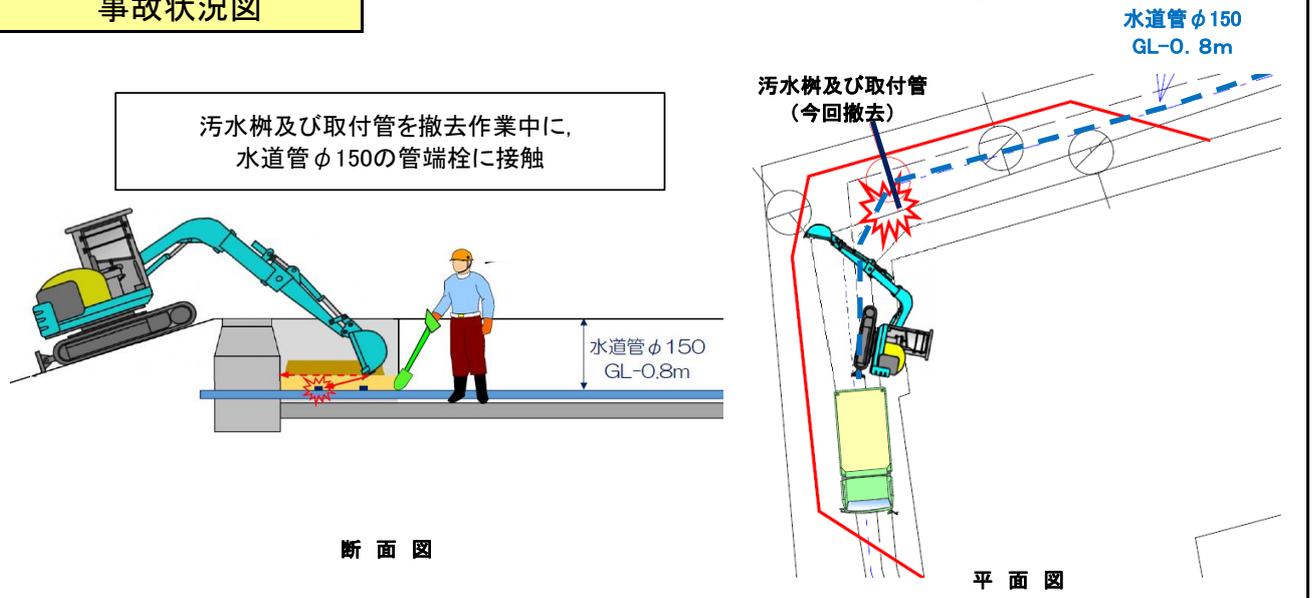


再発防止対策説明図(対策③)

公共工事等事故情報

事故分類	物損公衆災害	発生日時	令和元年11月12日(火曜日) 9時 45分			工事関係者区分	元請け
事故区分	埋設物等損傷	性別	—	年齢	—	業種区分	土木
被災程度	水道管(φ150)を破損			事故レベル	I	休業見込日数	—
工事概要	汚水枳及び取付管布設替え工事						
事故概要	汚水枳及び取付管の撤去にあたり、掘削を行っていたところ、GL-0.8mに埋設されていた水道管(φ150)にバケットが接触し、破損したものの。						
事故原因	機械による作業時に合図者を配置していなかったことや人力掘削作業員とバックホウのオペレーターとの連携が十分でなく仮置き土砂の下に水道管の管端栓があることをオペレーターが認識できていなかったこと等により発生した。						
改善策	地下埋設物が輻輳する箇所等で機械による作業を行う際には合図者を配置しその指示に従うことや人力と機械を併用しての作業を行う際は双方十分に連携をとることを徹底させること、また、その他地下埋設物への注意喚起のための方策を検討すること等により、同種の事故を防止すること。						

事故状況図



改善状況図



事故再発防止のための安全訓練

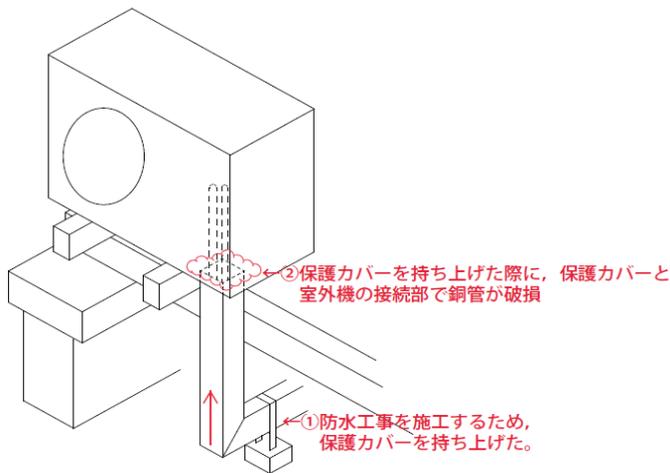


地下埋設物に対する注意喚起の保安表示

公共工事等事故情報

事故分類	物損公衆災害	発生日時	令和 元年11月9日(土曜日) 11時30分			工事関係者区分	一次下請
事故区分	その他の物損	性別	—	年齢		業種区分	建築
被災程度	空調冷媒管の破損			事故レベル	I	休業見込日数	-
工事概要	屋上防水改良工事						
事故概要	空調冷媒管を仮移設のため持ち上げた際に、ガス管(銅管)にヒビが入り、ガスが噴出した。						
事故原因	事前調査無く、冷媒管を持ち上げたため。						
改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・配管等の仮移設を行う際は、接続状況等を確認し、状況に応じた仮移設を行う。 ・朝礼等で作業員に上記内容について周知徹底を図る。 						

事故状況図



室外機現状



破損箇所詳細図

改善状況図

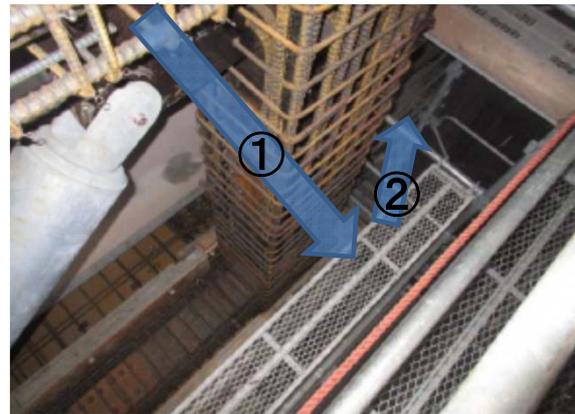
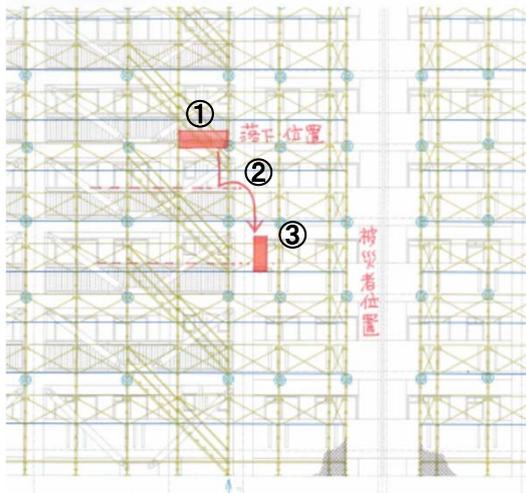


朝礼で周知徹底

公共工事等事故情報

事故分類	労働災害	発生日時	令和 元年 11 月 22 日(金曜日) 11時 00分			工事関係者区分	二次下請
事故区分	飛来落下	性別	男性	年齢	47	業種区分	建築
被災程度	右手人差し指の創傷(5cm未満)			事故レベル	I	休業見込日数	0
工事概要	建物耐震改修工事						
事故概要	・鉄筋圧接作業において、鉄筋組立作業員(加害者)が足場上で鉄筋緊結金具(長さ約30cm, 重量約3kg)を取り付けようとして誤って足場と躯体の間から落下させ、これが4階部落下防止棚等に当たって跳ねたあと、3階柱部の落下箇所裏手側で型枠組立作業中の作業員(被災者)の右手人差し指に接触し受傷(右手人差し指創傷)した。						
事故原因	・加害者が作業を急ぐあまり周囲への注意を十分払っていなかったこと等により事故が発生したものであり、鉄筋組立作業等における安全管理に不備があった。						
改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・朝礼時に上下作業のエリア分けを周知し、上部・下部の人払い・お互いの声掛けを徹底する。 ・当日の危険作業エリア・フロアを図面・表などで作成し、一目でわかるよう作業所前に掲示する。 ・落下防止ネットの追加。 						

事故状況図

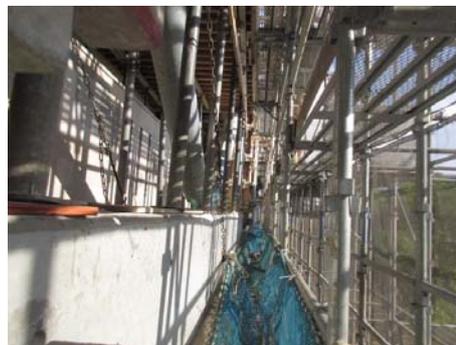


①5階から、②4階へ落下し、更に③3階の作業員に落下・接触

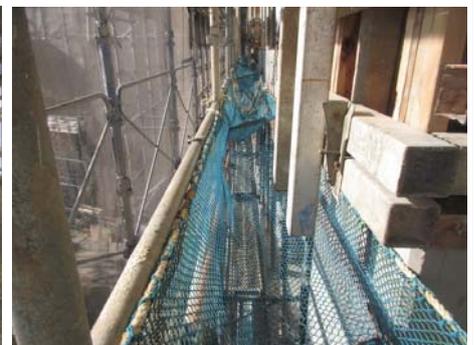
改善状況図



・危険作業エリア分けの掲示



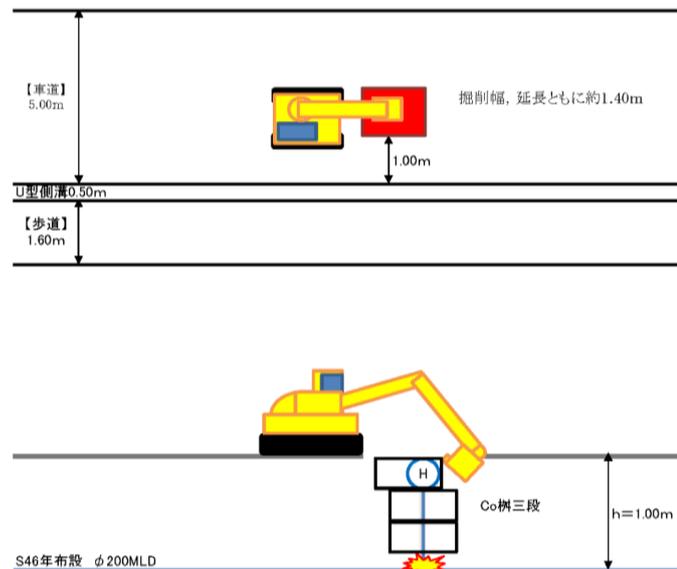
・落下防止ネットの追加



公共工事等事故情報

事故分類	物損公衆災害	発生日時	令和元年11月28日(木曜日) 9時50分			工事関係者区分	一次下請
事故区分	埋設物等損傷	性別	—	年齢	—	業種区分	土木
被災程度	水道管(フランジ付T字管の根元)を折損			事故レベル	Ⅱ	休業見込日数	—
工事概要	消火栓本体からの漏水に伴う修理工事						
事故概要	バックホウにて既設旧型消火栓下柵(Co製)3段を1段ずつ吊り上げようとしたが、柵同士が固着しており吊り上がらなかったため、バックホウのバケットを用いて柵を分離させようとした結果、分離した柵が既設消火栓本体に接触し既設フランジ付T字管の分岐部が折損したものの。						
事故原因	消火栓下柵(Co製)の撤去作業において、機械(バックホウ)ではなく、手のみ等を用いて確実に分離させ、水道施設への影響が無いよう注意しながら慎重に撤去作業を行うべきであった。						
改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・今回の事故を社内で共有し、再発防止に向けた監督課による安全講習会に参加。 ・下柵の撤去時における作業方法を改善し、同種の事故再発防止に努める。 						

事故状況図



改善状況図



安全訓練講習会の実施